

「磐井川砂防探検隊」を開催

6月12日、16日、18日の3日間、一関市内の小学生を対象とした磐井川砂防探検隊が開催されました。これは平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震を契機に、一関地域における自然災害の恐ろしさや、地域の安全を守る砂防施設などについて学習してもらうことを目的に実施しています。

16日の探検隊には一関市立舞川小学校4年生20名が参加し、地震にて被災し祭時(まつるべ)大橋や現在工事中の槻木平砂防えん堤などを探検しました。

参加した児童の皆さんは地震での被害や砂防えん堤の大きさに驚いていたようでした。今回の探検隊を通して、防災意識の向上につなげてもらえればと思います。



被災した祭時大橋を見学



舞川小学校4年生の皆さん(槻木平砂防えん堤)

出水期に備え、排水ポンプ車の訓練を実施

7月からの出水期に備えて、6月19日(木)に磐井川にある銅谷排水樋管にて排水ポンプ車による内水排除訓練を実施しました。

訓練では銅谷川にて内水被害が発生するおそれがあり、自治体から要請を受けて排水ポンプ車が出動したことを想定して、より手際よくポンプを設置できるよう手順確認等を行いながら実施しました。



銅谷排水樋管にて実施



銅谷川にホースを設置中

※内水被害とは・・・大雨による洪水により本川(今回の場合は磐井川)の水位が上昇することにより、支川(銅谷川)の水が本川流ることができなくなり、行き場を失った水が住宅地等に溢れ出す事象をいいます。

◆◆編集後記◆◆ 最近ゲリラ豪雨のような局地的な強い雨が降ることが多くなったような気がします。上流で強い雨が降ると急激な川の増水等も発生する恐れがありますので、川の近くで遊ぶ際には十分注意して楽しんで下さい。(え)